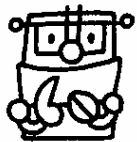


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人と動物の体 / 理解シート

年をとると、背が^せちぢむって本当なの

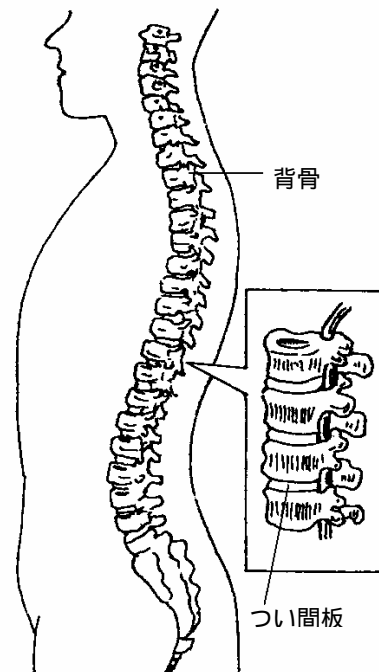


年をとると、背が^せちぢんでくるのは本当さ。^{ほね}骨の様子
が変わってくるからそうなるのさ。

年をとると、いつの間にか背がちぢんできます。
なぜ背がちぢんでくるかという、つぎのように説明されています。

^{せぼね}背骨が丸くまがってくること、背骨の骨と骨の間をつなぐ、クッションのような役目をしているつい間板がおしちぢめられて小さくなっていくこと、背骨の骨そのものも、おしちぢめられて高さがへってることがあげられます。また、足のうらの土ふまず（足のうらがもり上がっているところ）の骨が、だんだん平らになってくることなど、あちこちの骨の様子が、変化してくるためと考えられています。

朝起きたときとくらべると、夜ねるころは、だれでも身長が少しちぢんでいるといわれます。1日、立ったり座ったりしていると、骨がおしちぢめられるのです。



<人間の背骨>

なぜ、子どもは背がよくのびるのかは、わかっていない

子どものときは、よく背がのびます。とくに、11才ぐらいからぐんぐん背がのびはじめ、17才ぐらいになるとのび方がおそくなってきます。やがて、20才ごろには、たいていの人が、骨の成長はとまって、身長も一定になります。10代のときに、なぜぐんぐんのびるのかは、今のところわかっていません。